

# - 2022年の主な天文現象 - 正誤表

下記の様なミスがありましたので修正をお願いいたします。

1 1月8日の皆既月食を部分月食と表記していました皆既月食が正しいものです。

< 2 ページ 下 >

- 【□7月21日(木)□深夜に火星食】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 ㊦
- 【□8月13日(土)□ペルセウス座流星群が極大】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 ㊦
- 【10月□9日(日)□水星の西方最大離角】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 ㊦
- 【10月22日(土)□オリオン座流星群が極大】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 ㊦
- 【11月□8日(火)□夕方に部分月食】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 ㊦
- 【11月□8日(火)□部分月食中に天王星食】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 ㊦
- 【12月□1日(木)□火星が2年ぶりに最接近】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 ㊦
- 【12月14日(水)□ふたご座流星群が極大】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 ㊦
- 【□6月～10月□□パンスターズ彗星(C/2017-K2)が双眼鏡で】・他・・・・・・・・・・・・ 7 ㊦

引用参考：星空年鑑・2022、天文年鑑・2022、国立天文台天文情報センター暦計算室□□□□

< 5 ページ 下 >

【11月□8日(火)□夕方に部分月食】

半影食が始まった状態で山並みから月が昇ってきて、間もなく部分食が始まることになります。このため部分食以降の全行程を全て観察できます。



< 6 ページ 中 >

【11月□8日(火)□部分月食に天王星食】

皆既月食中に天王星食がある。天王星は5.7等視直径は約4"で潜入・出現には12秒程かかる。長野市での予想は次の通りです。  
 □潜入□20時37分08.3秒  
 □出現□21時26分57.7秒

